

令和7年第3回長崎市議会定例会

登壇日 令和7年6月16日(月) 10時~11時



今回の質問内容

1	消防行政について (1)林野火災防止の周知 (2)高層建築物の火災対応
2	教育行政について (1)桜馬場中・片淵中・長崎中の統合と跡地活用 (2)屋内運動場への空調設備の設置
3	ペーロンを通じた都市間交流について
4	南部地区の道路行政について (1)主要地方道長崎南環状線及び一般国道499号の進捗状況 (2)国・県道の維持管理に係る県と市の情報共有
5	自治会加入促進について

1. 消防行政について

(1) 林野火災防止の周知

質問→岩手県大船渡市の林野火災はこれまでも国内では冬場に多く発生している。

林野火災に対する市の見解、市民への周知方法は。

回答→林野火災警防計画を作成し、延焼拡大の軽減と効果的な消火活動に対応している。市民向けに地域や事業所等での防火講話やテレビ、新聞防災行政無線放送を通じて広く林野火災の未然防止を周知していく。

多発期は消防局、消防団詰め所に「のぼり旗」を掲示する等工夫をしていく。

(2) 高層建築物の火災対応

質問→高層階のマンション、大型ホテルでの火災防止の為の消防訓練の実績と今後の取組みは。又、高層建築物の火災時でのはしご車の整備状況は。

2. 教育行政について

(1) 桜馬場中・片淵中・長崎中の統合と跡地活用

質問→3校の統合が進められている。片淵中は建設後23年が経過しているが、建設時点では統合対象の計画は無かったのか。跡地活用についても伺いたい。

回答→当時片淵中の統合計画は無し。将来、片淵中・長崎中が閉校となるが、活用には、民間事業者からの意見を聞き、幅広い活用について検討していく。

(2) 屋内運動場への空調設備の設置

質問→早稲田大学・国立環境研究所の研究発表によると、「2060～80年代」の夏の暑さは国内3/4の地域で激しい運動を伴う部活動を中止すべきレベルになる。

屋内運動場(体育館)への空調設備設の検討状況は。

回答→財源の確保が大きな課題となるが、国庫補助や有利な地方債の活用を視野に入れながら、年次的な整備を行う計画を検討している。

3. ペーロンを通じた都市間交流について

質問→兵庫県相生市、熊本県苓北町との交流や、友好都市の福州市との今後の交流は継続していくのか。又、リトルペーロン(8人乗り)の活用や本市の支援策は。

回答→他地域との交流は今後も継続していく。昨年度「コミュニティー助成事業補助金」を活用し、リトルペーロン船を建造した。今後も地域と連携しペーロンの継承に努めていく。福州市との連携もペーロンを通じて継続して行く。

市民との協働意識の向上に向け、所管部局と連携しながら長崎ペーロン選手権大会や地区のペーロンをはじめ、地域の行事に市職員の積極的参加、協力を呼び掛けていく。

4. 南部地区の道路行政について

(1) 主要地方道長崎南環状線及び一般国道499号の進捗状況

質問→長崎南環状線の建設、499号の進捗状況等の周知は。

回答→南環状線は約1.0キロ地点まで掘削が完了しており、順調に推移している。

完成後の通行料金は無料。499号は用地取得を完了させ、令和8年度完成予定。「協議会」を中心に国や県などの関係機関に働きかけを行う。

(2) 国・県道の維持管理に係る県と市の情報共有

質問→南部地区の国道・県道の維持管理について、市と県との情報共有について伺いたい。

南部地区には国道・県道併せて8路線がある。香焼江川線については6月以降実施予定である。緊急通報や自治会要望などの情報共有する為の「道路異常箇所通報システム」の運用を国・県と情報共有していく。

5. 自治会加入促進について

質問→神奈川県相模原市で取り組んでいる、「自治パス」は加入促進に有効な施策だと思う。昨年度から本市議会で投げかけている。現状はどうか。

回答→相模原市の「自治パス」は相模原市自治連合会が事業主体となっている。

本事業の行政窓口である相模原市から情報収集を行い、長崎市保健環境連合自治会に情報提供し、検討している。